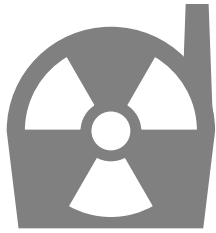


え？原発廃材で フライパン？

■ あなたの周りにも原発廃材が……！

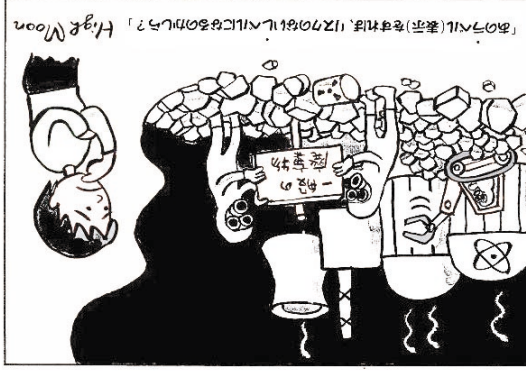
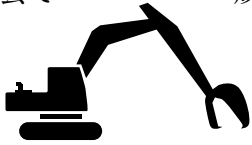


解体された原発の廃材から鍋やフライパンが作られる！？

そんな危険なことが現実になろうとしています。放射能の「スソ切り処分」制度を盛り込んだ原子炉等規制法改悪案が2005年5月の

国会で

成立し、2005年12月1日から施行されたからです。



反対の声を広げたいと思います。多くの方に、このリーフレットを活用してスソ切りの危険性を伝えてください。

「あつみん(表示)をすれば、12月の1日に配布のから？」 High Moon

発行：放射性廃棄物入ソ切り問題連絡会
http://www2.gol.com/users/amsmith/susokiri.html
連絡先：グリーン・アタシヨシ

〒606-8203 京都市左京区田中園田町22-75-103
TEL: 075-701-7223 FAX: 075-702-1952

■ 信頼できない安全性

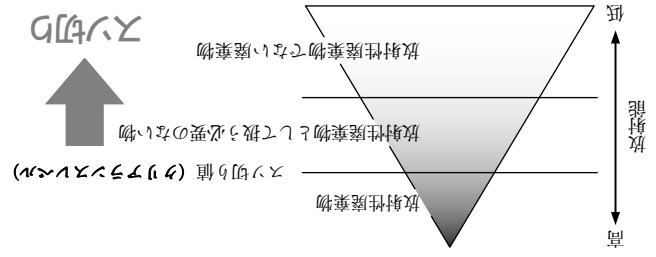
スソ切りの基準値は、被曝量が一般人の年間許容量の100分の1になるように計算し、算出したと説明されています。

しかし、放射能にはこれ以下なら安全という値はありません。国もリスクがゼロではないことを認めています。

■ 基準ははたして守られるのか

しかも、原発の解現場で、膨大な量の廃棄物を基準通りかどうか測定し、分別することが本当に可能でしょうか。実効性が問われます。

過失や不正によって、基準値が正しく守られない可能性も否定できません。



■ スソ切り処分とは

スソ切り処分とは、一定レベル以下の放射性廃棄物の規制を外す制度です。原発の解体・撤去にかかる費用を削減し、原発を抱える事業者などに便宜をはかるために考え出されました。原発廃材の金属をフライパン、家具、飲用缶など日用品に、解体コンクリートは路盤材などにリサイクルすることが可能になります。

■ 制度を定着させない取り組み

いきなり原発廃材が出まわることになっては混乱が大きいと判断したのでしょうか、電力業界は「制度が定着するまでの間」に限っては、「事業者が自主的に搬出ルートを把握し、業界内で再生利用する」と約束しています。

したがって、制度が導入されるとはいえ、反対キャンペーンを続け、「社会に定着した」とは言わせない取り組みが求められます。



子どもたちの未来のためにも、
原発廃材のリサイクル製品はゴメンだ！
みんなも一緒に声をあげ続けてネ！